

令和6年度

機内持込手荷物用X線検査装置仕様書

令和6年6月

富山空港ターミナルビル株式会社

1.概要

本仕様書は、富山空港ターミナルビル株式会社が購入する機内持込手荷物用 X 線検査装置に適用するものであり、当該機器に関する製作、設置、試運転、保安検査員への教育訓練等に係る仕様を示すものである。

2.調達物品

機内持込手荷物用 X 線検査装置 1 台
付属設備一式

3.設置場所

富山空港国際線旅客ターミナルビル 2 階保安検査場 B

4.履行期間

契約締結日から令和 7 年 3 月 2 8 日（金）まで
（機器設置、旧機器 1 台の撤去、取り扱い及び保守に関する教育訓練を含む）

5.機器 型式・仕様・性能

（1）性能要件

SmithDetection 社製 X 線検査装置「HI-SCAN6040-2is」、Rapiscan 社製 X 線検査装置「ORION 920DX」若しくは同等以上の性能を有する機器であること。

（2）機内持込手荷物用として、欧州民間航空会議（ECAC）または米国運輸保安局(TSA)の認証を受けた機器であること。

（3）日本国内空港に納入実績がある機器であること。

6.付属設備等

付属設備は以下のものを含むものとする。

- ① 前後フリーローラー（各 1m 程度）各 1 台
- ② 操作卓
- ③ 液晶モニター 2 台
- ④ モニターテーブル、モニターラック、チェア 1 式
- ⑤ 前後トンネルカバー 1 式
- ⑥ フィルム安全表示板
- ⑦ その他標準付属品

7.教育訓練

- (1) 運用者が本機器を運用・保守を行う上で 必要な知識および操作方法等の教育訓練を行うこと。
- (2) 日本語表記のマニュアル等を用いること。

8.保守体制

- (1) 保証期間は、業務履行完了後1年間以上とする。ただし、運用者の重過失が原因である故障については、有償修理とする。
- (2) 保証期間終了後は、機器所有者と請負者の協議により別途保守契約を締結する。
- (3) 定期点検をメーカーが推奨する回数（年1回以上）実施すること。
- (4) 緊急連絡先を提示すること。

9.その他

本仕様書に明記されていない事項については、機器所有者および請負者にて協議を行い、その協議結果に従うこと。

以上